

まちづくり懇談会内容

日 時：令和 5 年 11 月 27 日(月) 13：26～14：03

場 所：滝下公民館

出席者：6 人

1. 開会

2. 町長挨拶

※配布資料確認及び進め方の説明

3. 懇談

(1) これからのまちづくりについて (資料①)

(2) 自由懇談

教育長説明

4. その他

○ごみ分別内容の変更 (資料②)

5. 閉会 町長挨拶

懇談会終了

《懇談内容》

【自由懇談】

町民：ヤングケアラーの町内の状況は把握しているか。

町長：アンケート調査などはしており、どの程度あるかは把握している。子どもたちが勉強に支障が出ることや、クラブ活動などが出来ないなどが無いように見守り続ける取り組みを行っている。

町民：もっと表にPRした方がいいと思う。結局少子化などで若い人たちに暮らしやすい街ですよといったPRになると思う。ヤングケアラーの方からこういった声が出ていますと、そういった事をもっと出した方がいいと思う。

副町長：昨年 11 月に小学校・中学校・高校の全学年を対象にした調査結果であります、小学校 9 人 5.7% 中学校 8 人 4.6% 高校 4 人 3.9% 町内全部で 21 人になっております。

町民：そういった人をサポートして社会に送り出すということは大事なことです。

町長：ありがとうございます。

町民：除雪の関係で、検討委員会を設置されたとのことだが、成り手が少ないというか、できる人が出てこれない。私もできるが他に仕事があって出ていけないといった人材確保をどうしていくか。また、技量というところですが、人が少ないということで、現場にすぐ出してしまう。今2人態勢が普通だが、横に乗っているのがベテランならいいが、横に乗っている人間も経験低い、乗っている人間も経験低いので上達しない。

町長：オペレーターの確保が非常に難しい問題です。町のほとんどは除雪組合にお願いして除雪している。今後人口は減っていく、オペレーターも減っていく、技術継承も難しくなってくる、そういう問題が出てきている。

町民：最近目立つのは道路標識や電柱をなぎ倒してそのままにしていくなが多くなっている。由仁の方で電信柱を支えているワイヤーロープをぶった切っている。速度制限の看板も斜めになったままにしていくななど最近目立つ。栗山警察署にお世話になったのは、ブレードを電柱にぶつけていたので目撃者として話をしたが、運転手はぶつけていないと説明している。やったかやっていないか分からない、そんな技量の人を乗せている方がおかしいと思う。私もグレーチングなどをひっかけたらわかりますし、壊したら当然時間があればその場で対応するし、時間が無ければ後日必ず対応します。そういう当たり前だと思っていたが、最近の人はそんな当たり前のこともできない人が増えてきている。やったかやっていないかわからない人間を使うのがおかしい。それはもう人格の問題だと思う。

町長：道路管理者も色々あり、国道を管理している国の担い手、道道を管理している道の担い手、町道を管理している担い手など色々あるが、最低でも我々の町道の部分だけでもそういうことにならないように会議の中でもお伝えして、変えていかなければならない。

町民：一週間前に道路直してくれと電話したが、雪が降ってしまったのですが、直してくれるのか。

町長：場所を確認し建設の方へ伝えておきます。町も毎年予算をつけて地域から上がってくる要望を補修していつています、また、今回のような突発的な部分についてはその都度修繕しているというのが現状となっています。取りまとめはしたけども、予算の関係でできないというそうだと毎年毎年積み上がってきてしまうため、来年から何年かかけて、これまで積み残してきたものについて予算付けをして道路補修を行っていこうと話していますので、今までよりは多くの箇所を行っていこうと思っています。

町民：こういうところは滝下だけではなく他でも出ていると思う。砂利の部分は特に雨が降るとなってしまうので、そういうところはどこなのかチェックしていただいて、そこに側溝やグレーチングなどを入れる対応をしていただきたい。

町長：改良までやるのか、どうなのかは、その場所によって考える必要があるが、今後予算付けを行い今まで以上に考えていきたい。

町民：継立と角田の小学校は何人いるのか。

教育長：継立は40人ちょっとで、角田も同じくらいいます。令和9年度に入った場合は新一年生は1名でその時の全校生徒の予想は20人程度になっています。

町民：学校をひとつにするととなると難しいよね。

教育長：その辺についてもこれから町民の方とお話しさせていただきたいと思います。

町民：シンクタンクの情報で2060年に栗山町の人口が5～6,000人になるとなっている。その時に子どもの人口は何人いるのとなってしまう。そうすると夕張市と同じになってきてしまう。

町長：今から40年後にはそれくらいの規模になってきてしまう。夕張市は今小学校・中学校・高校と1校ずつだから、40年後にそうするのではなく、なんのためにやるのかと言ったら、子どもの環境をよりよくする、そういった着眼点をもっています。地域の皆さまからとしたら学校がなくなったらさみしいなどあるかもしれないですが、一番我々が気にしなければならないのは、将来の子どもたちのこと。

町民：自分の卒業した学校がなくなってしまうのは悲しい。無くなるときに同窓会などどうするのかなって、それが一番悲しいところ。

教育長：これからの子どもをどうするかが重要で、大人の世界についてはこれまで様々な先行事例があるので。

町民：大人のことは良いが、これからの子どもたちが卒業をして、卒業後2～3年でなくなっちゃって統合されましたってなったときに、大人で何十年も経ってから無くなっちゃったと言うなれば、大人の分別で何とかなるとは思いますが、中学校卒業するかしらないかで無くなるのが一番悲しいと思う。

教育長：私も校長でいたり、一般職で居た時にそう言う地域を見ました。そういうケアをしていくのが大事ですね。まだこれから町民の皆様に意見を聞いてみないと分からないので、それから対応していきたいと思います。

町民：町営バスの関係もそうですが、先に先に考えて協議していく必要があるのでお願いします。

町民：デマンドバスは学生を主に考えているか。

町長：主にはそうです。第一義的には南幌からきている7名の学生さんの足を確保するというで始めましたが、それ以外に北広や千歳の空港を利用する方も視野に入れて考えてやっているのですが、周知不足は指摘されている。一般の人の利用者がいなく、毎日乗るのは高校生です。これから、このバスが運行しているということを理解していただければ、もしかしたら来年以降でもあちらから通学してくれる方も出てくるかもしれないと思っ

ています。来年以降はどうか、もう少し試験運行を伸ばすのかなど、来年の3月までの結果だけで考えると1,800万かかるので、今の利用状況だけ考えるとどうかなと考えますが、もう少し夏場も見たいなど思っているのもう少し延長するなどして次の段階の判断をしたいと考えています。

町民：学生の時間だからなかなか難しい。新札幌についていけばまた違うかもしれないけど。

町民：どこまで行ければ乗りますかというアンケートを取った方が良いと思う。

町長：将来的に南幌から栗山高校へ乗る人がなくなってくるかもしれない。町をまたがって栗山町が運用してくのはこれからは難しい。

町民：夕張から札幌に行くのは鉄道しかないのか。

町長：夕張についても栗山町と同じようにデマンドバスを走らせており、夕張から栗山駅を通って長沼の病院までで、札幌まではないです。長沼で乗り換えて札幌まで行く形になります。

町民：夕張の営業所はなくなってしまったのですか。

町長：観光がメインで定期便はやめているそうです。

町民：南幌から札幌まではあるのか。

町長：南幌から札幌までの便はあります。中央バスも減便になります。このあたりの路線では、岩見沢から栗山までと、岩見沢から栗山経由で由仁駅まで、岩見沢から栗山経由の長沼までのいずれの路線も減便となっています。また、高速バスも値上げとなっています。町で経営しているバスが問題にならないくらい民間のバス事業者は経営が難しくなっています。運転手がいなかったら走らせることが出来ないのもうとどうしようもない状況です。

町民：燃やせないごみの項目の中に、石炭と使用後の花火が燃やせないごみが入っているが、使用済み花火は水につけて濡れるからダメなのか。石炭は化石燃料なので燃えるのかなと思ったのですが。

環境政策課長：花火等については濡らして排出して頂きたい。石炭については、ほとんど受け入れ事例はないが、これまで通り燃やせないごみに入れて出してほしい。

町民：燃やせないごみは埋め立てか。

環境政策課長：埋め立てです。

町民：農作物を入れる段ボールなどは、どこかの業者に頼んだほうが良いのでしょうか。

環境政策課長：事業用ごみについては事業用ごみとして排出してほしい。

町民：この辺で引き取りしてくれる業者はあるか。

環境政策課長：一覧にもありますが、運搬許可業者へ相談していただければと思います。また、購入したところに相談していただきたいものもあり、農協で購入した機械などはそちらに相談していただきたい、何かあれば環境政策課へ相談してほしい。

町民：農地整備でこれ以外の地域の予定はあるのか。

町長：期成会が動いていて、他の期成会が出来てきた段階で引き継いでいく形になります。

町民：これ以外の所はないということ。

町長：そうです。ただ、この近年で終わったところもある。

町民：終わったところもあるけどこれからできるところもあるということですか。

町長：そういうことです。もし地元期成会の立ち上げ等で相談が何かあれば、土地改良センターへ問い合わせしていただければと思います。

町民：除雪について、栗山は降っていないくて、日中こっちは降っている場合出てくれないよね。

町長：日中でも吹き溜まりなど危険がある場合は臨時的に出ていることもあります。基本的に日中は通行車両もありますので、なかなか出れないということもあります。また、南中北部にパトロールなどで確認している。ご連絡をいただければ、確認し対応させていただきます。

町民：たまに 30 c m くらい降っても 1～2 日来ないこともある。

町長：基本的にそれだけ降れば出動はするのですが、日中などいけない場合もあります。

町民：国道と町道で入ってる時と入ってない時がある。下と山の上との状況も違うのでなかなか状況を把握するのは難しいですね。

町長：栗山でも北部と南部では降り方が違い、南部は降っていても北部は降っていないなども考えられます。

町民：そういう時は連絡していいってことでいい。

町長：すぐ対応できるかどうかはわかりませんが、ご連絡いただければと思います。役場だけでは把握しきれない部分もあるので、地域と連携して対応できないか模索しながらやっていきたいと考えています。

町民：南北に長いので、南のほうはものすごく足が長くて、栗山の中心まで行くのに 20 分くらいかかる。大型の除雪機であれば 30～35 分かかりますから、それを考えればどっか円山に重機の倉庫みたいなのを置いたり、それはお金の問題もあるけど、中継点をどこかに設けた方が良いのでは。重機 1 台あるだけでも対応の仕方が変わってくると思うんですよね。

町長：わかりました。